

災害対策特別委員会

委員一覧（20名）

委員長	杉	久武（公明）	太田	房江（自民）	小林	正夫（※）
理事	足立	敏之（自民）	加田	裕之（自民）	芳賀	道也（※）
理事	長峯	誠（自民）	河井	あんり（自民）	水岡	俊一（※）
理事	吉川	沙織（※）	野村	哲郎（自民）	宮崎	勝（公明）
理事	矢倉	克夫（公明）	馬場	成志（自民）	室井	邦彦（維新）
	岩本	剛人（自民）	元榮	太一郎（自民）	武田	良介（共産）
	小野田	紀美（自民）	小沼	巧（※）		（元.10.4 現在）

※ 立憲・国民・新緑風会・社民

（1）審議概観

第200回国会において本特別委員会に付託された法律案は、衆議院提出1件（災害対策特別委員長）であり、これを可決した。

また、本特別委員会付託の請願1種類15件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

災害関連義援金 令和元年特定災害関連義援金に係る差押禁止等に関する法律案は、全会一致をもって可決された。

〔国政調査〕

第199回国会閉会後の10月1日、令和元年台風第15号及び第17号並びに令和元年8月の前線に伴う大雨に係る被害状況等について、武田内閣府特命担当大臣（防災担当大臣）から報告を聴取した後、質疑を行い、千葉県における台風第15号被害に対する政府の復旧に向けた取組状況、台風被害により一部損壊した住宅に対する防災・安全交付金の活用による支援見通し、長期停電に伴う農業被害に対する国の支援措置の在り方、被災家屋へのブルーシートの早急な設置完了に向け防災担当大臣のリーダーシップ発揮の必要性、

台風第15号による被害に当たり非常災害対策本部を設置しないと判断した根拠、長期停電に伴う被災家屋の状況等を踏まえた健康支援対策及び心のケアの必要性、災害時における通信設備の停電対策等に対する政府の取組の必要性、倒壊した農業用ハウスの撤去費用への助成措置の必要性、災害時の停電復旧作業に当たっての倒木の除去における自治体と事業者との連携強化策、一部損壊住宅の再建を支援するための恒久的な財政支援制度創設の必要性、住宅被害認定調査の弾力的運用と同施策の自治体への周知徹底の必要性、災害救助法及び被災者生活再建支援法の支援適用となる住家被害基準の見直しなどの諸問題が取り上げられた。

11月13日、令和元年台風第19号及び10月25日からの大雨等による被害状況等について、武田内閣府特命担当大臣（防災担当大臣）から報告を聴取した。

11月20日、質疑を行い、被災自治体・被災農家・中小企業に対する支援措置の在り方、罹災証明書早期交付に向けた国の支援、河川整備を通じた事前防災の重要性に対する防災担当大臣の認識、被災した建設業者に対する支援措置、令和

元年台風第15号及び第19号における避難行動の状況と災害時の情報提供の在り方、自治体における非常用電源の整備状況及びその広域活用の必要性、災害時の自治体間の人的支援体制の現状把握の必要性、被災者生活再建支援制度における支援金の拡充の必要性、台風第15号による長期停電に対する防災担当大臣の認識、被災障害者福祉施設の事業継続に対する支援措置、被災農家に対する農業用機械に係る修繕・再取得のための支援の必要性、在宅被災者の各種支援策に対する情報提供に係る自治体の取組への支援の必要性、防災教育の推進に向けた政府の取組、行政・ボランティア・NPO等の連携体制の強化に向けた政府の取組、全ての被災者に対するインフルエンザ予防接種の実施の必要性、被災した果樹園・きのこ農場の復旧及び軽トラック等に対する支援の必要性などの諸問題が取り上げられた。

11月27日、令和元年台風第19号等に係る被害状況等の実情調査のため、長野県に委員派遣を行った。

12月4日、前記委員派遣について、派遣委員から報告を聴取した。

同日、質疑を行い、千曲川等における河川管理者の混在の解消に係る国土交通省の見解、令和元年台風第19号に係る広域避難の課題及びその在り方、首都直下地震に備えて都市機能の代替拠点を全国に複数設置する必要性、ボランティア活動に係る支援の充実及び地域の実情に合った実践的な防災教育の推進、被災者生活再建支援金拡充の必要性、被災農家に対する債務負担の軽減策、茨城県内における無堤防区間の残存原因及び今後の対応策、災害廃棄物処理計画の策定促進に向けた取組、危機管理型ハード対策の進捗状況、脆弱性が指摘された堤防の早急な補強及び上流における治水対策の推進、住宅の応急修理と応急仮設住宅の供与の併用を認める必要性、災害時の避難行動に資する情報提供の在り方、被災農家の営農再開に資する災害復旧事業の在り方などの諸問題が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○令和元年10月1日(火) (第199回国会閉会後第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和元年台風第15号及び第17号並びに令和元年8月の前線に伴う大雨に係る被害状況等に関する件について武田内閣府特命担当大臣から報告を聴いた。
- 令和元年台風第15号による被害からの復旧・復興に関する件、被災農家に対する支援措置に関する件、令和元年台風第15号に対する政府の初動対応に関する件、被災者支援への防災・安全交付金の活用に関する件、被災者の住宅再建支援に関する件等について武田内閣

府特命担当大臣、加藤農林水産副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

豊田俊郎君(自民)、小西洋之君(※)、青木愛君(※)、平木大作君(公明)、音喜多駿君(維新)、武田良介君(共産)

○令和元年10月4日(金) (第1回)

- 特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○令和元年11月13日(水) (第2回)

- 令和元年台風第19号及び10月25日からの大雨等による被害状況等に関する件について武田内閣府特命担当大臣から報告を聴いた。
- 令和元年台風第19号等に係る被害状況等の実

情調査のため委員派遣を行うことを決定した。

○令和元年11月20日(水) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 被災自治体及び被災農家に対する支援措置に関する件、気候変動に対応した治水対策に関する件、災害時における情報提供に関する件、地方自治体における非常用電源の整備に関する件、令和元年台風第15号による停電対策に関する件、被災者生活再建支援制度の拡充に関する件、社会福祉施設及び保育園等の災害復旧に関する件等について武田国務大臣、御法川国土交通副大臣、松本経済産業副大臣、平内閣府副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

元榮太一郎君(自民)、足立敏之君(自民)、吉川沙織君(※)、小林正夫君(※)、矢倉克夫君(公明)、宮崎勝君(公明)、室井邦彦君(維新)、武田良介君(共産)

○令和元年12月4日(水) (第4回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 派遣委員から報告を聴いた。
- 広域避難の在り方に関する件、防災教育の推進に関する件、被災農家に対する営農継続支援に関する件、災害廃棄物・堆積土砂等の処理に関する件、災害救助法による住宅の応急修理制度に関する件、災害時の避難行動に資する情報提供に関する件等について武田内閣府特命担当大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

長峯誠君(自民)、加田裕之君(自民)、芳賀道也君(※)、小沼巧君(※)、矢倉克夫君(公明)、室井邦彦君(維新)、武田良介君(共産)

- 令和元年特定災害関連義援金に係る差押禁止等に関する法律案(衆第9号)(衆議院提出)について提出者衆議院災害対策特別委員長代理原田憲治君から趣旨説明を聴いた後、可決した。

(衆第9号)

賛成会派 自民、※、公明、維新、共産
反対会派 なし

○令和元年12月9日(月) (第5回)

- 請願第342号外14件を審査した。
- 災害対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○令和元年11月27日(水)

- 令和元年台風第19号等に係る被害状況等の実情調査

〔派遣地〕

長野県

〔派遣委員〕

杉久武君(公明)、足立敏之君(自民)、長峯誠君(自民)、吉川沙織君(※)、矢倉克夫君(公明)、元榮太一郎君(自民)、小林正夫君(※)、室井邦彦君(維新)、武田良介君(共産)